

尾張北部自然観察会

2024年2月3日（土）晴れ

参加者 指導員7名 一般5名 計12名

快晴で節分というのに春の暖かきです。各務原の河川環境楽園で冬の植物観察を行いヒメシャラ、コマユミ、ハクウンボク、ザイフリボク等の冬芽を見ていきました。去年は咲いていなかったロウバイ、ソシンロウバイ、ウメが見頃で香りも楽しめヒュウガミズキ、サンシュユも花芽がふくらんでいます。期待していたセツブンソウはあと一息でしたが、薄紫色のミスミソウが数輪開花していました。藍色のノシランの種子はジャノヒゲより大きく、中の胚乳を取り出してスーパーボールのように弾ませてみました。サイカチの刺に触れたあと大型の莢を分解してみると種子は薄く小さいのが予想外でした。溪流では早くもバイカモの白い花が咲いていました。

昼食後のエーザイ薬用植物園ではハンカチノキの実を拾い、カシワ、ミツデカエデ、テンダイウヤクの葉、カギカズラのカギ状の刺、コブシのようなオガタマノキの実などを観察しました。温室ではコショウ、ビャクダン、イランイランノキ等の花を見て、普段目にしないものも楽しめた一日でした。（後藤）

